

令和7年度
バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進
功労者表彰

「ライトライン」が 「内閣総理大臣表彰」を受賞



A1 倶楽部

2026 機関紙

【発行所】

さとう栄一
後援会総連合会

〒321-0954
栃木県宇都宮市元今泉5-1-22
TEL.028-662-3300
FAX.028-662-5501

住めば
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

昨年、ライトラインが開業2周年を迎え、8月には想定より半年早く利用者数が1千万人に到達し、運行する宇都宮ライトレール株式会社は、2024年度決算で1億9千万円の黒字となりました。ライトラインの取組は各方面から高く評価され、12月には「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰」の「内閣総理大臣表彰」を受賞し、高市内閣総理大臣から直接表彰いただきました。JR宇都宮駅西側延伸に向けては、10月に事業の特許を国に申請するとともに、駅西口周辺地区の将来像や整備方針などを示しました。

このほか、「女性活躍加速化元年」として、「女性活躍推進専門官」の任命や「女性活躍推進課」の新設、さらには市立小中学校・保育施設等における給食費の支援、移動販売と併せた高齢者の交流機会の創出など、市民がいきいきと暮らせる環境づくりに取り組まれました。

本年は市政130周年という節目を迎え、これまでの歩みを振り返りながら、先人が築き上げてきた宇都宮の前途を明るく照らしているよう、まちづくりに邁進していく所存です。

主な取組として、物価高の影響を強く受けている子育て世帯に対し、子ども1人当たり2万円を支給する「子育て応援手当」を開始するほか、食料の安定供給に向けた引き受け手のいない農地の受け皿組織の強化などに取り組まれます。

また、市内の工場で製造された電気バスなどを導入する交通事業者の支援や、デジタル化が進む現代において欠かせない存在となっている「データセンター」の早期立地誘導など、本市経済を牽引する企業の立地・定着を促進します。

3月にはアーバンスポーツを核とした新たな拠点「アークトウン宇都宮」、人と食が集う拠点「Freshpointのみや市場」のオープンにより、新たな賑わいを創出します。

社会経済環境が目まぐるしく変化し、将来の予測が困難な時代の中にあっても、将来世代へ負担を先送りすることなく、持続的に発展していく「未来志向のまち」として「スーパースマートシティ」を創り上げてまいります。

宇都宮市長 佐藤栄一

佐藤栄一市長の主な取組

令和7(2025)年度

★市役所でフレックスタイム制を本格導入



職員のフレックスタイム制と選択的週休3日制を本格導入しました。ワーク・ライフ・バランスの推進のほか、働きやすい職場環境を整備することで、人材確保・定着にもつなげてまいります。

★児童相談所 令和12年度供用開始を目指す

市独自に設置する児童相談所について、国立病院機構栃木医療センター内の敷地(中戸祭1丁目)を建設予定地として決定しました。複合機能や組織体制などの検討を進め、令和12年度の供用開始を目指してまいります。



★山田邦子さんと宇都宮餃子会・鈴木章弘さんを「宇都宮ブランドアンバサダー」として委嘱



宇都宮餃子を全国に広めた立役者であるお二方を「宇都宮ブランドアンバサダー」に委嘱しました。深い餃子愛と高い発信力・影響力を生かして、本市の魅力を広く発信していただきます。

★ろまんちっく村を再整備へ

年間100万人以上が訪れる「ろまんちっく村」について、観光拠点としての機能をさらに高め、北西部地域全体の活性化をこれまで以上に牽引する施設となることを目指し、再整備に向けた対話型市場調査を実施しました。



★バス路線再編で関東自動車と基本協定を締結



ライトラインのJR宇都宮駅西側延伸にあわせたバス路線再編の円滑な実施や、効果の最大化を図るための基本協定を締結しました。公共交通の利便性向上や利用促進を図る取組について、協力関係を一層強化してまいります。

★ブレックスアリーナ宇都宮をBプレミアム基準に合わせて改修

ブレックスアリーナ宇都宮にスイートルームやラウンジ、飲食施設スペースを新設、トイレの数も増し、利用環境の向上を図りました。宇都宮ブレックスのホームタウンとして、トップリーグでの活躍を支えてまいります。



★ジャパンカップ経済効果35.8億円で過去最高額

10月に開催された「宇都宮ジャパンカップサイクルロードレース」の経済波及効果が過去最高の35億8,100万円にのびました。3日間で13万4,800人が来場し、大きな賑わいを創出しました。



令和8(2026)年度

★物価高騰対策「宮の家計応援給付金」をすべての市民に



長引く物価高騰への対策として、食料品の値上がりが続く中、家計の負担を軽減するため、すべての市民に一人当たり5,000円の現金給付を実施します。

★小中学校等の給食費をさらに軽減



国・県と連携し、保護者が負担する給食費に対して、小学校は子ども一人当たり毎月5,200円、中学校は毎月5,900円を支援します。保育施設等も市独自に毎月2,000円の支援を継続します。

★全天候型子どもの遊び場を整備

天候に左右されずに子どもたちがのびのびと活動でき、保護者も楽しめる屋内の遊び場を、田原コミュニティプラザを改修して整備し、令和9年度の供用開始を目指します。



★移動販売のルートを拡大



宝木地区に続き、国本地区・中央地区でも移動販売を開始しました。国本地区では、4月からの本格スタートに向けて、販売ルートの拡大を検討しています。今後も地域からの誘致のご相談に応じて、拡大を図ってまいります。

★北西部体育館の整備が本格化

地域の方々をはじめ、多くの人が交流し、健康づくりへの参加を促進する屋内・屋外スポーツ活動の場、北西部体育館の整備に着手し、令和9年度の供用開始を目指します。



★引き受け手のいない農地の受け皿組織を強化



農業者の高齢化や離農が進む中、地域の農業を守り、安定して食料を供給できるよう、農地の受け皿となる組織の設置に向けて、JA及び農業公社と連携を図ってまいります。

★自治会の支援メニューを充実

自治会活動を活性化するため、新たに「自治会運営支援アプリ」の導入や、自治会内の交流・加入促進の取組への補助など、支援メニューを充実させます。



★「親なき後」の支援を充実



障がいのある方や介護をしている方が、将来にわたり安心して日常生活を送れるよう「親なき後相談窓口」を開設するとともに、宿泊体験の拡大や一般就労に向けた資格取得の受験費用の補助も開始します。

まだまだ加速する宇都宮 新しい時代とともに

生成AI等の普及・発展により急速な拡大が見込まれ、国においても地方分散を推進しているデータセンターについて、比較的早期に大規模な電力供給が可能である「新栃木変電所（相野沢町）南側隣接地への立地誘導に向けて取り組みます。データセンターが立地することで、地域に根差したAIサービスの提供や関連企業の誘致・定着、固定資産税の増収など、様々な効果が期待できます。

データセンターの立地を誘導

「八幡山オアシスリゾートパーク」を私的な手で自慢の公園にすることをコンセプトに、令和9年3月のオープン、令和9年4月の開園100周年に向けて取り組みます。



八幡山公園のより一層の魅力向上に向け、飲食施設や自然体験施設の整備を行う事業者と基本協定を結びました。公園の自然環境を生かしたツリーハウスがある「自然体験ゾーン」・カフェレストランやドックラ

八幡山公園をリニューアル

令和7年度から、高齢者の交流促進と生活支援を目的とした移動販売を開始しました。イートリーカ堂、ウエルシア薬局、とちぎコープ生活協同組合、とりせんと連携協定を締結し、事業者支援として車両購入などの初期費用を補助、第一号は宝木市宮住宅付近で販売が行われ、地域の方々に買い物と交流を楽しんでいただきました。今後も地域からの誘致のご相談に応じて拡大を図ります。

移動販売が進行開始

令和7年度から、高齢者の交流促進と生活支援を目的とした移動販売を開始しました。イートリーカ堂、ウエルシア薬局、とちぎコープ生活協同組合、とりせんと連携協定を締結し、事業者支援として車両購入などの初期費用を補助、第一号は宝木市宮住宅付近で販売が行われ、地域の方々に買い物と交流を楽しんでいただきました。今後も地域からの誘致のご相談に応じて拡大を図ります。



子育て世代の負担を軽減するため、令和7年度から市の独自施策として、市立小中学校と保育施設等の給食費等に対し、毎月2000円を上限に支援を行うことを実施しています。令和8年度は、市立小中学校に対する支援を拡充することで、安心して子どもを生み育てる環境づくりのさらなる推進を図ります。

給食費の保護者負担を軽減

令和7年度を「女性活躍加速化元年」と位置づけ、女性活躍のための全庁的な推進体制として、「女性活躍推進本部」を設置するとともに、女性活躍推進専門官として、お茶の水女子大学ジェンダー・イノベーション研究所の斎藤悦子教授と、宇都宮大学DE&I推進センターの川面充子特任助教を任命しました。お二人の専門的な知見を生かしながら、市として女性活躍推進の一層の加速化を図ります。

女性活躍を加速化

令和7年度を「女性活躍加速化元年」と位置づけ、女性活躍のための全庁的な推進体制として、「女性活躍推進本部」を設置するとともに、女性活躍推進専門官として、お茶の水女子大学ジェンダー・イノベーション研究所の斎藤悦子教授と、宇都宮大学DE&I推進センターの川面充子特任助教を任命しました。お二人の専門的な知見を生かしながら、市として女性活躍推進の一層の加速化を図ります。



令和7年11月、市内で製造されたEV（電気自動車）バスが県内で初めて導入されました。令和12年までに宇都宮市内を運行する路線バスの約7割にあたる158台のEV化を予定しており、市も積極的に支援しています。公共交通が連携し、これからの人口減少社会にあっても、誰もが快適に移動できるまちをつくるべく、ライトラインも電気で走る。EVバスが市内を縦横無尽に走る。これが宇都宮が目指す脱炭素社会の姿です。

メイドイン宇都宮のEVバス運行

市内に整備する新たな産業団地の候補地として選定していたインターパーク東地区と宇都宮工業団地東地区の基本計画を公表しました。インターパーク東地区は2032年度、宇都宮工業団地東地区は2033年度の分譲開始を目指します。企業進出・工場増設などのニーズに応えられるよう、積極的な誘致に取り組めます。

新産業団地2地区を公表

市内に整備する新たな産業団地の候補地として選定していたインターパーク東地区と宇都宮工業団地東地区の基本計画を公表しました。インターパーク東地区は2032年度、宇都宮工業団地東地区は2033年度の分譲開始を目指します。企業進出・工場増設などのニーズに応えられるよう、積極的な誘致に取り組めます。



令和7年12月、片山財務大臣に要望書を提出しました。LRT整備をはじめ、全国共通の課題である安全・安心な市民生活の確保や自治体DXに対する一層の支援を要望したもので、大臣からは、本市のNCCのさらなる推進に向けたまちづくりが、全国の自治体の地方創生を牽引するロールモデルとなることを期待する旨の激励をいただきました。

片山さつき財務大臣に要望書を提出

「ライトライン」各賞総なめ 駅西側延伸へ期待が膨らむ

- 令和5（2023）年
- 1月20日 ● JIDAデザインミュージアムセレクションVOL.24
 - 10月25日 ● 「グッドフォーカス賞」（地域社会デザイン）
- 令和6（2024）年
- 2月2日 ● 日経優秀製品・サービス賞 最優秀賞
 - 2月6日 ● 第33回栃木県イメージアップ貢献賞
 - 4月12日 ● 第45回国際交通安全学会賞 業績部門
 - 5月23日 ● 2024年ローレル賞
 - 5月23日 ● 令和5年度全建賞
 - 10月16日 ● 第23回日本鉄道賞特別賞（LRT雷都未来特別賞）
- 令和7（2025）年
- 3月18日 ● 国土交通省バリアフリー化推進功労者表彰
 - 3月24日 ● 令和6年度関東運輸局地域交通優良団体表彰
 - 4月7日 ● 第33回地球環境大賞 環境大臣賞
 - 6月5日 ● 第37回全国街路事業コンクール（国土交通大臣賞）
 - 6月6日 ● 2024年度日本都市計画学会（石川賞）
 - 12月15日 ● 令和7年度交通関係優良団体大臣表彰
 - 12月24日 ● 内閣府バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰（内閣総理大臣表彰）

区整備については、昨年10月に官民が連携してライトラインと一体となった駅前広場や周辺民間街区における地区の将来像や整備方針などを取りまとめた「JR宇都宮駅西口周辺地区整備基本計画」を策定したところであり、今後は、県都の玄関口にふさわしい駅前空間の整備に取り組んでまいります。

ライトラインのJR宇都宮駅西側延伸については、昨年10月に本市と芳賀町、宇都宮ライトレール株式会社において軌道事業の特許取得が必要となる「軌道運送高度化実施計画」を策定し、国への認定申請を行いました。計画は国交省や運輸審議会での審査を経て、認定後は工事施行認可を申請・取得し、2028年内の着工を目指します。また、JR宇都宮駅西口周辺地区整備については、昨年10月に官民が連携してライトラインと一体となった駅前広場や周辺民間街区における地区の将来像や整備方針などを取りまとめた「JR宇都宮駅西口周辺地区整備基本計画」を策定したところであり、今後は、県都の玄関口にふさわしい駅前空間の整備に取り組んでまいります。



駅西口2階 駅西口1階

中心街の再開発事業を宇都宮市が支援することで計画が着々と!

本市の中心部である二荒山神社前に位置する「パンバ地区」においても、再開発準備組合による検討が進み、再開発事業の計画がまとまっています。当事業では東側にホテルや商業施設の低層棟、西側にマンションの高層棟の2棟構成となる整備が計画され、2033年度の完成を目指しています。JR宇都宮駅西側においては、ライトラインの延伸とともに、再開発をはじめとした民間開発機運の高まりや駅前広場の整備など、近年、スタイリッシュに大変化を遂げて、活気あふれる中心街になります。

「アーケータウン宇都宮」は、ライトライン平石停留場直結の本市初となる本格的なアーバンスポーツ施設を備えた公園です。国内外の大会にも対応可能な全天候型のスケートパークをはじめ、3x3などのスポーツや多様なイベントにも対応できる屋根付きの多目的広場に、複合遊具や開放感のある芝生広場などを備え、子どもから高齢者まで幅広い世代が楽しめる公園です。地元農産物を活用した産直店や飲食店、カフェなどの店舗も出店します。また、今年11月のスケートボードの国際大会の開催に向け、取り組んでいるところです。ライトライン沿線の新たな賑わいと交流の拠点として、多くの方の来場をお待ちしています。



宇都宮駅西口大通り南地区の再開発事業がスタートしています。マンション・商業・オフィスの複合施設で、地上29階、高さ約100mの高層建築物となり、2030年度の完成を目指しています。

中央卸売市場敷地内に、市場から仕入れた新鮮な野菜や果物、魚を気軽に購入することができる「Freshpo（フレスポ）うつのみや市場」がオープンしました。餃子やスイーツ、和菓子など人気の飲食店が出店するほか、食べ歩き時のテラスとして活用できる大屋根に覆われた「食の広場」や、遊具を備えた芝生広場などもあり、家族連れで楽しめる「食のランドマーク」となる施設です。

「Freshpo うつのみや市場」がオープン